

# 【報告】長崎県看護協会主催 平成 28 年度 市民公開講座開催

11月23日、ながさき看護センターにおいて平成28年度市民公開講座を開催しました。当日は、祝日ということもあり約170名の方にご参加いただきました。

たんぼぼ先生でおなじみの、医療法人ゆうの森 理事長 永井康徳先生をお招きし、『「在宅医療」知っていますか？～家で最期まで療養したい人に～』をテーマに講演して頂き、シンポジウムでは、在宅での看取りを経験したご家族、入浴サービス事業者、訪問看護師から発表がありました。

## 第1部：講演

「在宅医療」知っていますか？～家で最期まで療養したい人に～  
医療法人ゆうの森 理事長 永井 康徳 先生



日本の超高齢社会や在宅看取りの現状から、自分の望む療養場所や望む医療について、質問を投げかけながら考える機会を与えて頂いた。最期まで食べる事、最期の瞬間を見ていなくても良いこと等話され、家族にとって在宅医療のハードルが下がったように感じた。会場では、涙を流しながら、相槌を打ちながら聞き入る様子も見られた。

## 第2部：シンポジウム

「あなたの望む人生の最終章とは？」  
体験者より学ぶ

○シンポジスト

- ・家族の立場から 自宅で夫を看取った85歳の妻
- ・訪問入浴サービス担当者  
特別養護老人ホーム 唐比温泉秀峰荘  
木村 由紀子さん
- ・訪問看護師の立場から  
長崎県看護協会訪問看護ステーションいさはや  
芦塚 智美さん



【講座後のアンケートから】

- ・「死に向かい合うと人生が変わる」という言葉がこころに残った。
- ・行政が進める在宅医療では「2025年に高齢者が増え医療機関が不足する、医療費がかさむので」ということから始まるが、先生の講演の中では「自分らしく生きることを支える医療」が在宅医療であることがしみじみ感じられる。多くの市民がこんな学びが出来る場をつくる必要があると思いました。
- ・在宅医療、「看取り」について不安が軽減された。
- ・私は病院で働いていますが、最後までIVHや吸引、延命などを行っています。個人の意思の尊重や人間らしく生きる・・・いろんな選択肢をだし、自分自身の仕事、利用者様の立場に成って考えていきたい。

開催に当たり、勇美財団様、長崎県地域婦人団体連絡協議会様、県内の地域包括支援センター等多くの方々の御協力とご支援を頂き無事終了する事が出来ました。感謝申し上げます。

長崎県看護協会訪問看護支援事業



TEL : 0957-49-8055

訪問看護に関する相談など  
お気軽にどうぞ！